

日薬連発第 165 号
2024 年 3 月 12 日

加盟団体 殿

日本製薬団体連合会
安全性委員会

医薬品類似名称検索システムにおける「前処理」について

標記について、医薬品類似名称検索システム運用委員会より依頼がありました。

つきましては、本件につき貴会会員に周知徹底いただきたく、ご配慮の程よろしくお願い申し上げます。

令和6年3月12日

日本製薬団体連合会・安全性委員会 事務局 御中

医薬品類似名称検索システム運用委員会

医薬品類似名称検索システムにおける「前処理」について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、令和6年2月26日に開催されました「第20回医薬品類似名称検索システム運用委員会」において、検索の<前処理>について検討が行われ、英語表記の“V”を和名にした際の“ヴァ”等については、“バ”等に文字の変換を行ったものについても組み合わせを作成することが望ましいとの見解となりました。

つきましては、前処理についての追加情報を提供いたしますので、貴会会員企業に対して周知の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

医薬品類似名称検索システムにおける「前処理」について

「医薬品類似名称検索システム」については、厚生労働省が複数の医薬品の販売名がお互いに類似していることに起因する医薬品の取り違い・誤使用等は患者の生命に直接かかわる可能性もあるため、インターネット環境下で医療関係者、製造販売業者等が医療用医薬品の販売名の類似性を検索するシステムの開発を行い、一般財団法人日本医薬情報センター（JAPIC）が運用する『医薬品類似名称検索システムホームページ』として公開したものです。

類似性の判断指標として利用されております「新規承認医薬品名称類似回避フローチャート」（平成17年10月17日 厚生労働省医薬食品局安全対策課 事務連絡 添付 新規承認医薬品名称類似回避フローチャート（改定））では、＜前処理＞として「濁音、鼻濁音を有する文字についてはそれらを清音の文字に変換を行ったものについても組み合わせを作成し、原データとする（清音の濁音化、鼻濁音化も同様に行う）。撥音については大文字化したものも原データとする。」との記載があり、「医薬品類似名称検索システム」を利用される企業につきましては、当該前処理を行われているかと存じます。

このたび、令和6年2月26日に開催されました「第20回医薬品類似名称検索システム運用委員会」（委員長：土屋文人 医薬品安全使用調査研究機構 設立準備室 室長、事務局：JAPIC）において、検索の＜前処理＞について検討が行われ、英語表記の“V”を和名にした際の“ヴァ”等については、“バ”等に文字の変換を行ったものについても組み合わせを作成することが望ましいとの見解となりましたので、前処理についての追加情報を提供いたします。

英語表記の“V”を和名にした際の“ヴァ”等については、以下の文字の変換を行ったものについても組み合わせを作成し、原データとすることが望ましい。

“ヴァ”	→	“バ”
“ヴィ”	→	“ビ”
“ヴ”	→	“ブ”
“ヴェ”	→	“ベ”
“ヴォ”	→	“ボ”